

# ウルグアイ概況

ジェットロ海外調査部米州課（2021年6月22日更新）

一般事項	政治動向	二国間関係																								
<p>国名：ウルグアイ東方共和国 Oriental Republic of Uruguay 面積：17万6,000平方キロメートル〔日本の約半分、出所：統計局（INE）〕 人口：352万人（2019年推計、出所：INE） 首都：モンテビデオ 人口138万人（2019年推計、出所：INE） 行政区分：19県 公用語：スペイン語 民族：欧州系90%、先住民系5%、その他5% 宗教：主にキリスト教（カトリック）</p>	<ol style="list-style-type: none"><li>保守系二大政党であるコロラド党、国民党および1970年代より伸長した左派連合（FA（拡大戦線））を基盤とする民主主義国。</li><li>1973年から1985年まで文民・軍事独裁政権。その後、伝統二政党（コロラド党、国民党）による中道左派政権は民主主義の回復・発展、自由主義的経済政策の推進、財政改革等を展開。しかし90年代に起こった経済危機の影響で国民の二大政党に対する信頼が低下。2005年にはバスケス候補の当選により史上初の左派政権が誕生し、FAが上下両院でも過半数をおさえ、続く地方選挙でも勝利しさらに躍進した。</li><li>第一次バスケス政権は経済、教育、社会福祉、貧困削減等の面で多大な成果をあげ、支持率80%で任期を終えた。2010年、かつて左派ゲリラであったムヒカ前大統領が政権を引き継ぎ、前政権の方針を踏襲しつつ教育、治安、住居およびインフラ分野を主要課題として取り組んだ他、農業、技術振興（農業・工業等）、再生可能エネルギー投資、観光等の分野にも力を入れた。また、中絶合法化、同性婚合法化、大麻合法化等これまでにない政策も実施した。</li><li>2020年3月1日、ルイス・ラカジェ・ポウ大統領率いる新政権が誕生した。15年続いた左派政権からの政権交代が行われた。教育、イノベーション分野などに注力することを明らかにしている。また、外交政策については、メルコスール関係強化に取り組む意向を示している。</li></ol>	<p><b>貿易額</b> <span style="float:right;">（単位：100万ドル）</span></p> <table><thead><tr><th></th><th>日本の輸出</th><th>日本の輸入</th><th>収支</th></tr></thead><tbody><tr><td>2016年</td><td>60.4</td><td>58.8</td><td>1.6</td></tr><tr><td>2017年</td><td>64.7</td><td>49.0</td><td>15.7</td></tr><tr><td>2018年</td><td>59.9</td><td>12.1</td><td>47.8</td></tr><tr><td>2019年</td><td>64.9</td><td>27.8</td><td>37.1</td></tr><tr><td>2020年</td><td>44.4</td><td>35.9</td><td>8.5</td></tr></tbody></table> <p><b>対日貿易の主要品目（構成比）：2020年</b> 日本の輸出：乗用車（20.2%）、物理分析用又は化学分析用の機器（5.6%）、その他プラスチック製品（5.4%）、医療用又は獣医用の機器（4.5%）、印刷機（3.7%） 日本の輸入：牛の肉（52.9%）、食用のくず肉（9.6%）、ミルク及びクリーム（7.5%）、羊毛、織獣毛及び祖獣毛（4.4%）、その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血（4.3%） 出所：GTA（元データは財務省貿易統計）よりジェットロ作成</p> <p><b>要人往来：</b> （往） 2015年2月 宇都外務大臣政務官 2015年3月 谷特派大使（バスケス大統領就任式） 2015年5月 西村国土交通副大臣 2017年9月 岡本外務大臣政務官 2018年3月 西川内閣官房参与 2018年12月 安倍総理大臣 2020年3月 河村特派大使（ラカジェ・ポウ大統領就任式） （来） 2015年11月 バスケス大統領（実務訪問賓客） （ニン・ノボア外相、アストリ経済財務相同行） 2015年12月 コッセ工業エネルギー鉱業相 2016年4月 ムヒカ前大統領 2017年2月 ロバージョ大統領府副長官 2019年3月 ベネッチ農牧水産大臣 出所：日本国外務省ウェブサイトよりジェットロ作成</p> <p><b>日系企業進出状況：</b> 19社（2019年10月時点） 出所：外務省「海外進出日系企業拠点数調査（令和元年10月1日現在）」</p> <p><b>在留邦人数：</b> 319人（2020年10月時点） 出所：外務省「海外在留邦人数調査統計（令和3年版）」</p> <p><b>在日ウルグアイ人：</b> 130人（2020年6月時点） 出所：法務省「在留外国人統計（旧登録外国人統計）」</p>		日本の輸出	日本の輸入	収支	2016年	60.4	58.8	1.6	2017年	64.7	49.0	15.7	2018年	59.9	12.1	47.8	2019年	64.9	27.8	37.1	2020年	44.4	35.9	8.5
	日本の輸出	日本の輸入	収支																							
2016年	60.4	58.8	1.6																							
2017年	64.7	49.0	15.7																							
2018年	59.9	12.1	47.8																							
2019年	64.9	27.8	37.1																							
2020年	44.4	35.9	8.5																							
基礎的経済指標																										
<p>実質GDP成長率：△5.9%（2020年、出所：ウルグアイ中央銀行） GDP総額：535億7,500万ドル（2020年、出所：同上、ウルグアイXXI） 輸出額：80億7,600万ドル（2020年、出所：同上） 輸入額：68億500万ドル（2020年、出所：同上） 主要輸出品目：牛肉、セルロース、大豆、乳製品（出所：同上） 主要輸入品目：自動車、農薬、衣料品、プラスチック、食品（出所：同上） 主要輸出相手：中国、ブラジル、EU（出所：同上） 主要輸入相手国：ブラジル、中国、アルゼンチン（出所：同上） 外貨準備高：158億3,180万ドル（2021年3月、出所：中銀） 対内直接投資額：309億7,700万ドル（2019年ストック、出所：同上） 対外債務総額：481億2,300万ドル（2020年、出所：同上） 通貨単位：ウルグアイペソ 対ドル為替レート：43.583（2021年6月22日、出所：ウルグアイ中央銀行）</p>																										
政治体制																										
<p>政体：立憲共和制 元首：ルイス・ラカジェ・ポウ大統領（Luis LACALLE POU） （2020年3月1日就任、任期5年、連続再選禁止） 議会制：二院制、上院議長は副大統領が兼任 上院 31名、下院 99名（共に任期5年） 政党：FA（拡大戦線）、国民党、コロラド党、独立党、人民同盟他 内閣（主要閣僚）： 副大統領 ペアトリス・アルヒモン（Beatriz ARGIMÓN） 社会開発相 パブロ・バルトル（Pablo BARTOL） 経済財務相 アスセナ・アルベレチェ（Azucena ARBELECHE） 農牧水産相 カルロス・マリア・ウリアルテ （Carlos Maria URIARTE） 工業エネルギー鉱業相 オマール・パガニーニ （Omar PAGANINI） 内相 ホルヘ・ララニャーガ（Jorge LARRAÑAGA） 外相 フランシスコ・ブスティージョ（Francisco BUSTILLO） 観光相 ヘルマン・カルドソ（German CARDOSO） 運輸公共事業相 ルイス・アルベルト・エベル （Luis Alberto HEBER） 労働社会保障相 パブロ・ミエレス（Pablo MIERES） 住宅土地環境相 イレネ・モレイラ（Irene MOREIRA） 出所：外務省、ウルグアイ政府サイト（2021年6月22日時点）</p>																										
経済動向																										
<ol style="list-style-type: none"><li>1999年以降、ブラジル、アルゼンチンにおける経済危機がウルグアイ経済を直撃。これに国内での干ばつや口蹄疫の発生が重なり、ウルグアイ経済は2002年まで連続のマイナス成長を記録。しかし、その後の政府経済政策（国内銀行整理等）および国際機関等の金融救済措置により、翌年にはプラス成長に転じた。経済危機を教訓として、メルコスールへの過度の依存を避け、対外経済関係の多角化を積極的に進めている。</li><li>2020年のGDP成長率は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もありマイナス5.9%と落ち込んだ。ウルグアイは、2003年から2019年まで、リーマンショックや隣国ブラジル・アルゼンチンの景気後退にも関わらず17年連続でプラス成長を続けていた。ただ、新型コロナウイルス感染拡大の影響は大きく、対中国貿易の低迷、厳格な外出規制による消費の落ち込み、国境を封鎖し夏の観光シーズンにも外国人観光客を受け入れない方針を打ち出したことで観光業が落ち込んだ。</li><li>ルイス・ラカジェ・ポウ氏が大統領就任時に掲げた、「メルコスール関係強化」への取り組みについては、域内の規則変更等についてブラジルと共に提案するなど積極的にイニシアティブをとっている。</li><li>日本とウルグアイは2019年9月、租税条約に署名した（2021年6月時点未発効）。</li><li>2018年12月、日本とウルグアイは牛肉の輸入を相互に解禁した。</li></ol>																										
ウルグアイの主要経済指標																										
項目	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年																					
1. 実質GDP成長率	1.7%	2.6%	1.6%	0.2%	△5.9%																					
2. 消費者物価上昇率	8.10%	6.55%	7.96%	8.79%	9.41%																					
3. 賃金上昇率	11.65%	7.96%	8.21%	8.49%	7.75%																					
4. 失業率	7.8%	7.9%	8.3%	8.9%	-																					
5. 経常収支（100万ドル）	428	△18	△336	824	△297																					
6. 貿易収支（100万ドル）	△1,140	△600	△1,391	△565	△709																					
7. 対内直接投資額（フロー、100万ドル）	△1,825	△601	146	1,817	-																					
8. 対ドル為替レート（ウルグアイペソ、期末レート）	29.340	28.807	32.406	42.999	42.340																					
〔出所〕 1.：IMF、ウルグアイ中央銀行、2. 3. 4. 8.：INE、5. 6. 7.：ウルグアイ中央銀行																										